

「変化する世界に適応するための刷新と創造」

(チュオン・タン・サン国家主席の日本国国会における演説
於 東京、2014年3月18日)

こんにちは（日本語）。

伊吹文明 衆議院議長閣下、
山崎正昭 参議院議長閣下、
安倍晋三 内閣総理大臣閣下、
大臣及び両院の議員の皆様、

私は、本日、アジアで最も長い歴史を持つ立法機関であり、日が昇る国において125年間にわたり非常に重要な役割を担ってきた日本の国会に於いて演説できることを大変光栄に思います。ベトナムの国家と国民を代表し、皆様と日本の国民の皆様とに友好の気持ちと祝意をお伝えします。

私は、こうしてちょうど桜の季節に日本を再訪し、2011年3月の東日本大震災から3年を経た日本の力強い復興を目の当たりにし、大変うれしく思います。2011年6月に訪日した際、私はお会いした一人一人の日本人の方から、不屈の精神とふるさとを建て直す決意をはっきりと感ずることができました。日本国民の気質、規律性、助け合いの精神は世界中を感服させました。我々ベトナム人は、日本と言え、厳しい試練の後いつも力強く立ち上がり、屈強に困難を乗り越えて前へ進む民族を思い浮かべます。皆さんが地震と津波の大災害に直面したとき、ベトナム国民は常に皆さんのそばに寄り添い、日本の皆さんが失ったものを自身が失ったもののように感じていました。

2013年、我々はベトナム日本外交関係樹立40周年を盛大に祝いました。しかし、我々両民族間の歴史的つながりは40年間にとどまらず、もっと長きにわたります。8世紀には仏哲^{ぶつてつ}という僧侶がベトナム中部から日本に渡り、布教をするるとともに林邑楽^{りんゆうがく}という音楽を伝え、これが地元の人々によって奈良市の大安寺で奉納されました。また、400年以上前、日本の商人たちがホイアンに最初の煉瓦を築いて日本人町をつくり、またフォーヒエンを訪れ貿易を行いました。17世紀初めにはグエン・ホアン王が徳川幕府の徳川家康将軍に通

商の希望を表明する多数の書簡を送っています。19世紀末の日本における明治維新の成功は20世紀初頭ベトナムの愛国の志士たちによるドンズー（東遊）運動を触発し、ファン・ボイ・チャウ氏と浅羽佐喜太郎氏との真摯な友情は美しいシンボルとなりました。

たとえ地理的に隣接していなくとも、文化の共通性と歴史的交流は両民族を結びつける^{にかわ}膠であり、二国間関係発展の確固たる土台なのです。

皆様、

我々の世界と地域は、多くの深い変化を目の当たりにしています。グローバル化と多層的な経済連携の趨勢は大きなチャンスとアジア太平洋が21世紀において世界の新しいパワーの中心となる展望を拓いています。2008年から2009年の世界金融危機の後も、我々の地域は引き続き世界経済の回復と成長のエンジンとなっています。同時に、我々は、世界においても地域においても、経済構造の改革と、持続可能で環境に優しく、知識と高い技術に基づく発展に向けた成長モデルの変更が大きな趨勢となっていることを感じています。したがって、「変化する世界に適応するための刷新と創造」は各国、各民族の必然的な選択です。日本とベトナムも例外ではありません。これは私が本日は皆様と共有したい考えでもあります。

我々は日本政府の重要な改革を高い関心を持ってフォローしており、安倍総理のアベノミクス政策が喜ばしい成功をもたらし、日本が地震と津波の影響から力強く回復するのを助けていることをうれしく思います。これらの重要な断固たる政策は、日本と日本国民の特徴的で価値ある伝統である適応と刷新の能力を表すだけでなく、日本の国会と政府の指導の正しさを証明するものです。世界の経済大国の一つである日本の復興はアジア太平洋地域の共通の繁栄と結びついています。ベトナムは日本の成功を歓迎し、引き続き日本の成功を信頼しています。皆さんの成功は、ベトナムが経済の再構築と自身の成長モデルを刷新していく過程において参考とすべき貴重な経験でもあります。

皆様、

30年間に亘る全面的なドイモイ（刷新）は、ベトナムを所得が非常に低い国からダイナミックに経済が発展する国に、また投資家にとって有望な投資先

に変えました。

ベトナムを近代的で「民が富み、国が強く、民主的、平等で、文明的」な方向で、基本的に工業国にするという目標を実現するために、ベトナムはこれまでもまた現在も全面的なドイモイ政策を推進し続けており、法治国家の建設、民主主義の拡大、行政改革の推進、司法改革、立法の刷新、経済構造改革の促進、成長モデルの刷新、経済成長と各種社会問題との間の調和、環境保護と政治・社会安定の堅持、投資優遇との間の両立を図っています。昨2013年中は、引き続き世界経済の厳しい状況の影響を受けつつも、ベトナムはGDP成長率5.42%を達成すると同時にマクロ経済を安定させ、今後成長率を次第に上げていく展望が生まれています。

皆様、

我々両国関係は、40年間を通じ、刷新と包括的な発展を止めることはありませんでした。ベトナムと日本は2009年に「アジアの平和と繁栄のための戦略的パートナーシップ」の枠組みを確立しました。その関係の成果は、両国国民に大きな、かつ実質的な利益をもたらしただけでなく、諸国と諸国民にとって、寛容の精神、対立ではなく対話、相互尊重と互恵的協力こそが最善の選択であるとの真理を証明しています。

日本は、ベトナムの工業化、近代化における大きな、重要なパートナーとなりました。有利な地理的・戦略的位置、安定した政治・社会、豊富で「黄金の」人口構成を持ち合理的なコストの労働力などの重要な比較優位を持つベトナムは、これまでも、またこれからも日本の投資家にとって重要で長期的な投資先であり続けます。ホンダ、トヨタ、ソニー、日立といった有名なブランドと他の多くの日本の会社がベトナムで親しまれ、ベトナム人の毎日の生活と密接に結びついています。

日本からの貴重な政府開発援助（ODA）は、ベトナムで非常に効果的に使われてきています。交通インフラ、学校、病院、工場、港湾、空港など、重要でベトナム人の生活に実際に役立つ多くの案件は協力の素晴らしい象徴となり、両国国民間の友好関係緊密化に貢献しています。この機会に、私は、日本の国会、政府及び国民の皆様に対し、日本が、地震・津波の被害からの復興に取り組まなければならなかった間を含め、ベトナムに対するODAを維持・増加させてくださったお心と高邁な行為に改めて心から感謝いたします。

我々は、引き続き成長モデルの刷新を推し進めるため、日本から、特にインフラ整備、質の高い人材の育成、裾野産業、農林水産物の加工保存技術（ポストハーベストテクノロジー）などにおいて、マネジメント経験の共有、技術移転の促進、ODAを通じた効果的な協力と積極的な支援をいただき、新しい投資の流れの中でベトナムを優先的投資先として選んでいただけるよう期待しています。ベトナムは、日本から新規の投資を誘致するため、引き続き制度整備を進め、より有利な条件を整えていきます。日本がG7諸国の中で最初にベトナムを市場経済国と認定されたことは、ベトナムにおけるドイモイの成果に対する喜ばしい具体的評価です。私たちは、日本が引き続きベトナムと共に歩み、ベトナムが前進し、中所得国の罫を乗り越え、国の工業化・近代化目標を成功裏に実現できるよう支援して下さることを期待しています。

昨年、日本からベトナムを訪れた人の数が延べ60万人を超え、ベトナムから日本を訪れた人の数が延べ8万人近くに上ったことは、国民交流と文化・観光分野での協力が力強く発展していること、そして国家間の関係に加え、国民間、企業間の交流が、両国の戦略的パートナーシップ関係の活力と基礎を作り出す重要な要素であることを示しています。科学技術、教育・人材育成分野における協力は、両国間の協力の中でも重点的な分野です。ホアラクハイテクパーク建設や科学研究衛星の打ち上げに対する日本の支援は、我々が知識集約型経済に一層近づくための重要な前提を形成しています。ベトナムは、教育の質の向上を最重要の国策として重視しており、教育や人材育成分野、特に質の高い人材の育成に対する日本の支援及び協力を高く評価しています。我々は、日越大学構想、一部重点大学及び職業訓練校の国際標準へのレベルアップを含む優秀大学整備諸計画案が基本的かつ戦略的なステップであり、この協力分野にはまだ多くの潜在性と余地が残されていると考えます。

過去40年間を通じ、両国の最高立法機関である国会間の緊密な協力は、ベトナムと日本の関係が正しい方向へ進み、日々発展するための重要な法的基礎を形成しました。両国関係における重要な発展には常に両国国会の足跡と力強い支援があり、特に、越日友好議員連盟及び日越友好議員連盟は大きな貢献をしてきました。越日友好議連と日越友好議連をはじめとする両国国会間の良好な関係は、両国の議員が贈呈しあったベトナムの蓮と日本の大賀蓮のように不断に育まれてきました。

皆様、

我々の世界は、領土紛争、海洋島嶼の主権、原子力セキュリティー、テロ、国境を越える犯罪から気候変動、自然災害、水の安全保障といった非伝統的安全保障問題に至るまで、複雑、多方向で、日々厳しく顕在化する試練に直面しています。日増しに相互依存が高まりつつある世界の中で様々な試練を乗り越えていくためには、思考と戦略環境のとらえ方、そして各国間の協力方法と関係も刷新していく必要があります。ベトナムは、国の安全保障と発展に係る目標と国際的地位は、それぞれの国が自国の運命を地域及び世界共通の運命と結びつける時にのみ達成できると信じています。

そうした精神に則り、海上紛争に関し、ベトナムは終始一貫して、平和的手段による解決、1982年国連海洋法条約を含む国際法の遵守、独立、主権及び互いの正当な権利尊重の原則を堅持しています。関係国は自制し、状況を複雑化してはならず、また、武力の使用及び武力による威嚇を行ってはなりません。

二国間関係の促進に加え、両国は国連、アジア太平洋経済協力（APEC）、列国議会同盟（IPU）、東アジアサミット（EAS）、ASEAN地域フォーラム（ARF）、拡大ASEAN国防相会議（ADMM+）など多くの重要な多国間フォーラムにおいて積極的に協力しています。ベトナムは、日本が国連安全保障理事会の常任理事国となり、国際社会で相応しい役割と地位を占め、地域と世界の平和、安定、協力と発展に積極的に貢献することを支持します。ベトナムは、拡大ASEAN海洋フォーラム（EAMF）を含む、地域の平和と安定を維持するための協力促進を目指す日本の重要なイニシアティブを高く評価しています。

日・ASEAN間の戦略的パートナーシップを一層強化することは、ASEANが2015年に共同体を建設し、地域アーキテクチャーの中で中心的役割を発揮していくことを支援する上で極めて重要な役割を担っています。ベトナムは、ASEAN・日本の戦略的パートナーシップ関係を促進し、共に平和で安定し繁栄する地域を目指すことに貢献すべく全力を尽くしていきます。

皆様、

絶え間なく変動する世界において、ベトナムと日本も、これまでもまた現在も、新しい戦略環境に適応するため、不断に対内政策と対外政策を刷新し続け

ています。私は、政治面における信頼、両民族間の文化的共通性と結びつき、そして過去40年間にわたる堅固な協力関係の印象的な成果は、二国間関係を引き続き新たな高みへと発展させ、広範な戦略的パートナーシップの素晴らしい未来に向かう堅固な基礎と力強いエンジンであると考えます。ベトナム国民は、我々両国間の関係が日々強化され、拡大し、深化していくことを深く信じています。このことは、両国国民の利益に資するだけでなく、アジア太平洋地域の平和、安定、協力と繁栄の確保への重要な貢献でもあります。

私は、本日午後行われる私と安倍晋三総理大臣との会談で、両国関係を新しい高みへと引き上げ、それぞれの国の発展に实际的に貢献し、両民族間の結びつきをより緊密にし、深め、強固なものとするための大きな方向性と方策について合意できることを信じています。

最後に、日本の国会がベトナムに対し常に深い関心を寄せ支援してくださっていることに感謝いたします。また、各議員の皆様に、新しい高みにおける協力枠組みの中で日越関係を進めるための諸施策を引き続き積極的に支援していただけるようお願いいたします。

日本国民と日本国の繁栄と幸福を祈念します。ベトナムと日本の間、そして両国国会間の友好と協力が、両国国民の利益のため、そして地域と世界の平和、安定、協力と発展のため不断に強化・発展するよう祈念します。

ありがとうございました（日本語）。